



東公民館だより

令和4年11月号

令和4年11月4日発行

みどり市東公民館

TEL 97-2721

FAX 97-2424

○まんま筆でおなじみ、金井利栄子先生の「パステルアート教室」開催します。

パステルアートとは、パステルを粉状にして、くるくると描いていくアートで、子どもから高齢者まで、誰にでも簡単に楽しめるので、絵心がなくても大丈夫です！

「自信はないけど、絵を描いてみたいな・・・」という方にこそおすすめです。

心とからだにも良い効果があるともいわれています。

内容：パステルアートの描き方を学ぼう！

日時：令和4年12月9日(金) 午後1時30分～午後3時30分

会場：東公民館 2階 講義室

費用：1,000円(材料費)(おつりのないよう宜しくお願い致します)

募集人数：15名程度

申込締切：12月1日(木)までに、東公民館(97-2721)へ



○みどり市出前講座「ボッチャ体験」教室

パラリンピック競技大会で話題になった、

「ボッチャ」の体験教室を12月に東公民館で開催します。

日程は調整中ですので、詳しくは、募集チラシをご覧ください。



○東地域文化祭 10月15日、16日に開催しました。

3年ぶりの文化祭を童謡ふるさと館で行いました。



♪童謡ふるさと館イベント案内♪

○音と映像を楽しむ鑑賞会

日時：11月12日、13日、19日、20日、23日

午前10時～午後4時

大きなスクリーンで劇場体験も楽しめます。

9月10月のイベント記録



コンサート



こわいおはなし会



映画鑑賞会



童謡の父 石原和三郎没後100年記念事業について

童謡「うさぎとかめ」「金太郎」などの作詞者で、みどり市東町出身の石原和三郎の遺徳を偲び開催した「石原和三郎賞 作詞コンクール」は、入賞作品の審査会を開催しました。入賞作品等の発表は後日行います。



※石原和三郎の書簡や絵画など、関係資料を探しています。ご自宅に眠っている資料がある方で、資料の貸し出しや提供が可能な方は、東公民館(0277-97-2721)までご連絡下さい。

※イベント等は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更となる場合があります。



東町人口【2022.10月末】

男	女	合計	増減(前月比)	世帯数
796	917	1,713	±0	863



みどモス

紙上講座 「九十年前の東」

〜岩澤正作氏の著より4〜



講師 藤井 実さん (東町花輪)

宮沢までは堆積岩の古生層地帯であるが、宮沢からはマグマが地下深い所で固まって出来た火成岩(花崗岩)地帯となる。この地は堆積岩と火山の岩という地質の変化する所であるとともに風情も変わる。所々には花崗岩の採石場があつて、さかんに切り出している。

左側に不動堂を見て宮沢の部落に入ると、左側に神戸と草木の境界石標が建っているが、宮沢の部落は両大字に続いている。

部落を過ぎ坂路を上がり切ると、足下の渡良瀬川の水ぎわに星石。遙か右前方の左岸近く(※この左岸側を、旧国鉄足尾線がはしっていた)に釜戸岩・雌釜・雄釜の奇岩(きがん)を望むことができる。

宮沢の鏡澤不動堂前を過ぎると、左側丘脚の墓地内に舟型碑二基連ねた夫婦墓碑がある。

下草木の部落に入ると路の右側に、弘法大師の指道石と稱する自然石の指道標がある。(※現在の信濃屋の庭に「大同元年に弘法大師御撰(ぎよせん)草木八景」とあり、「右、根本山道」一里半。左、日光山道九里」と刻されている。)

その指道石の手前を右折して下草木川の溪流に沿って下ると、渡良瀬川右岸近くに弘法の割石。その上流百メートルほど隔てて釜戸岩・雌釜と連なり、対岸には雄釜の奇巖が突出している。なお上流百メートルほど上があると、四十八窪石。河辺に添って上ること百余メートルには龍燈岩。四十八窪石の下方三四十メートルの所から西に登ると、下草木部落の端れに出る。

下草木橋を渡り下草木川の谷を回り込み進むと、まもなく渡良瀬川の筋に高常寺の灯明に映えたという龍燈岩を右方眼下に眺められる。

そして街道の前面左方には、花崗岩の立派な石段があり、門柱に「日本曹洞宗華嶽山高常寺」と刻くしてある。

※次回は、下草木・上草木・日向・八沢です。



あずま文芸

俳句

精錬所 残して 足尾の水澄みし

朝顔や 涼しげな顔 通学路

懐しき サルビアと言う 同窓会

短歌

草紅葉 道沿い ほのぼの 石仏

赤き帽子と 前だれの列

囲いして ねぎや油葉 作れども

猿や鹿らにみな荒らさるる

粉を捏ねギョーザ作れば 孫二人

今日が最高 口を揃えて



金子照子

千葉正篤

今泉紀美代



米田展彗

高瀬安代

影澤美代子

今年度は、6回にわたり、90年前の東町の様子を岩澤正作氏(みどり市にゆかりのある、明治・昭和時代前期の考古学者)の著書を通してお伝えします。

東公民館の周辺では、1月末まで工事車両の出入りがあり、ご利用の皆様には、ご不便をお掛けしておりますが、ご理解とご協力をお願いします。建物がなくなり周辺の景色が変わりました。



暑い夏から、いきなり寒くなり、すっかり秋です。皆さん、体調は大丈夫でしょうか？

童謡ふるさと館は、12月から冬期休館ですが、館内はすでにストーブで暖をとっています。寒い中がんばっている職員と来館の皆様へ感謝です。